



枝川小だより

やればできる
自分で考え、行動し、
決める場面を多く設定しよう

「消防署見学」に行きました(3年)

9月16日(水)の午前中、3年生3名が社会科で笹野消防署の見学を行いました。消防署では、消防車や救急車を間近で見学し、車両に積まれているさまざまな道具や、消防士・救急隊員の仕事について学びました。また、心肺蘇生の訓練の様子を見学し、いざというときに人の命を救うために、日々訓練を重ねていることを知りました。

見学の最後に、実際に救急車が出動する場面に立ち会いました。緊急出動する救急車を見送りながら、救急隊員の方々が一刻を争う現場へ向かう姿を目の当たりにし、子どもたちは消防や救急の仕事の大切さを改めて感じました。

実際に見たり、聞いたり、感じたりする体験を通して、教室の学習だけでは分からない消防署の仕事について理解を深めることができました。



全校児童で「Mito まち探検」を行いました

9月18日(金)に、「Mito まち探検」を実施し、JR水郡線やバスを利用してさまざまな施設を見学し、仕事について学びました。

午前中は、茨城県庁と茨城県警察本部を訪れました。県庁では、25階の展望室から水戸のまちの様子を眺めるとともに、県がどのような仕事をしているのか説明を聞きました。県警察本部では、通信指令室や道路管制センターを見学しました。110番通報を受けてから警察官が現場へ向かうまでの仕組みや、道路の混雑状況を把握し、交通を安全で円滑にするための仕事について学びました。また、代表児童が実際に110番通報をする体験にも挑戦しました。緊張しながらも、必要な情報を伝えることの大切さを体験することができました。

午後は4グループに分かれて、弘道館、水戸地方裁判所、川又楽器、川又書店(右の写真参照)をそれぞれ訪問しました。

弘道館では、水戸藩の藩校としての歴史や、当時の人々がどのようなことを学んでいたのかについて説明を聞き、館内を見学しました。歴史ある建物や資料に触れ、水戸の歴史について興味を深めることができました。

水戸地方裁判所では、裁判所の役割や裁判の仕組みについて話を聞きました。法廷を見学し、実際の裁判が行われる場所の雰囲気を感じることができ、裁判所の仕事について具体的に知る貴重な機会となりました。

川又楽器では、さまざまな楽器を見たり、楽器店で働く方から仕事について話を聞いたりしました。楽器に触れる体験もあり、音楽を身近に感じながら、楽器を扱う仕事について学ぶことができました。

川又書店では、本が並ぶ店内を見学し、本を販売する仕事について話を聞きました。普段何気なく利用している書店にも、たくさんの人の仕事や工夫があることを知りました。

JRやバスでの移動では、乗り降りや周囲への配慮など、普段とは違う環境の中で行動することに緊張した様子が見られましたが、友達と声を掛け合いながら、時間やマナーを意識して行動する姿で見られました。

今回の「Mito まち探検」は、さまざまな仕事や施設について学ぶだけでなく、実際にまちへ出て自分たちで見て、聞いて、体験することのできた貴重な一日となりました。今度はひたちなか市内の施設に目を向け、見学や調査を通して、地域への理解を深めていきたいと考えています。

